

柔道で地域に希望を

在南アフリカ日本国大使館

ヨハネスブルグのアレクサンドラ地区はアパルトヘイト政策下において黒人居住区とされていた地域で、現在も貧困層が多く居住しているのに加え、近隣諸国からの難民も多い人口密集地帯となっています。そのような中、同地区の住環境や治安はあまり良くなく、地域の人々のレクリエーションの機会も極めて僅かでした。

南アフリカ柔道連盟は、世界柔道連盟との協力の下、同地区において柔道教室を散発的に開催し、地域の若者の非行防止やレクリエーションの機会の提供に取り組んできました。そして、その活動は、恒久的な柔道場を作り、同地区の環境改善に資するという構想へとつながりました。

在南アフリカ日本国大使館は、草の根文化無償資金協力により、同地区にあった廃屋の柔道場への改修を支援しました。できあがった柔道場には、世界柔道連盟から畳や柔道着が提供されると共に柔道コーチが派遣され、柔道指導を行う環境が整いました。同柔道場で開催される柔道教室には、同地区の子供たち、若者、女性、難民の方など様々な層が参加しています。また、同柔道場は地域の高齢者の健康増進の場としても機能しています。

この柔道場が、地域の方々の心身を健康に保ち、ひいては地域の未来に希望を与えるものとなることが期待されます。

